

市民 ニュース

活動・ボランティア



2007年

9月号

平成19年8月25日発行
通巻105号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／
分部食堂／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス
秋野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト／みえチャレンジプラザ
●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワーク
すずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター／
松阪まちづくりセンター『まちなか松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定
非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター／結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／
皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート
赤目の森／名張市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢
●伊賀市●ウォリアム・テルズアップル まちづくりセンター／伊賀市
中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカル光各調剤薬局
【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター) (桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／齋宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

三重県若者自立支援センター 9月3日(月)アスト津3Fにオープン!

若者就労支援のためのネットワークづくりのための取り組み(行政とNPO、市民の協働事業)

昨年度の協働事業提案事業で採択された「遊休人財活性化プロジェクト」では、若年無業者の自立に向けての支援ネットワークづくりを目的に三重県若者就労支援研究会を8回開催し、のべ199名の参加を得ました。そこでは講演会や親向けセミナーの開催、支援ガイドマップの制作など、具体的な事業の企画を練ったり、学習会、ワークショップを開催したりして、共通認識の形成と顔の見える関係づくりを心がけてきました。その結果、若者就業サポートステーション・みえの出張サロンが四日市、伊勢、名張で開催されるようになったり、三重大学の学生がガイドマップの取材編集に協力するなど、研究会に参加する主体の間で、さまざまな連携・協力関係が生まれてきました。

そしてこの9月、アスト津3Fに県の雇用、教育、保健福祉の3つの部署担当者が机を並べ、包括的な支援を継続的に行っていく「三重県若者自立支援センター」がオープンします。ここでは、地域における支援者の養成や高校中途退学者の早期の社会参加に向けた支援などを行います。

「三重県若者就労支援研究会」は、今年度から「みえ若者就労支援ネットワーク」と名称を改め、企業関係の皆さまや市町等との連携を図るなどして、ネットワークをさらに拡大し、専門性を高めながら、よりダイナミックな動きを起こしてまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほどお願い致します。9月9日(日)のキックオフイベントでお会いしましょう!

(みえ若者就労支援ネットワーク代表 NPO寺子屋プロジェクト・井上淳之典)

【三重県若者自立支援センター・オープニングセレモニー】

●とき／平成19年9月3日(月)13:30~14:00 ●ところ／アスト津3F イベント情報コーナー
●内容／野呂知事挨拶、村上労働局長祝辞、テープカット、若者体験発表、名誉ユースサポーター委嘱式、アテネオリンピック女子レスリング金メダリスト・吉田沙保里選手「若者へのメッセージ」

【記念講演会】

●とき／平成19年9月3日(月)14:15~15:30 ●ところ／アスト津4F 第1研修室
●テーマ／三重県の若者は今! ●講師／三重大学人文学部 石阪督規 准教授
●申し込み方法／電話・ハガキ・FAX・Eメールで下記の問い合わせ先まで ●締切／8月30日(木)
●定員／80名(申し込みが定員を超えた場合は抽選、満たなければ当日参加可)

【若者就労支援キックオフイベント 働く一歩を踏み出したい若者、全員集合】

●とき／平成19年9月9日(日)11:30~17:30 ●ところ／三重県庁講堂(津駅より徒歩8分)
●内容／不登校を乗り越えた青少年たちのバンド「オクトパスカル」によるミニライブ、国の再チャレンジ支援策の説明、インタビュー形式による講演「ニート自立へのアプローチ 若者就労支援・静岡での取り組み」、パネラー5名による討議「若者就労支援のためのネットワークづくりの取り組み」、テーマ別参加者ワークショップ、就労体験事業説明会、支援機関紹介コーナー

●応募方法／電話・ハガキ・FAX・Eメールで下記の問い合わせ先まで ●締切／9月6日(木)
●参加費／無料 ●募集人数／150名(会場に余裕があれば当日参加可)

※「県政だよりみえ」9月号の特集記事も併せてご覧ください。

【問い合わせ・申し込み先】三重県生活部 勤労・雇用支援室 若年者自立支援担当

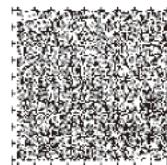
住所:514-0009 津市羽所町700 アスト津3F TEL:059-246-1212

FAX:059-222-3301

E-MAIL:wakamono@pref.mie.jp ホームページ <http://www.oshigoto.pref.mie.jp/>

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



この9月から、三重県社会福祉協議会では「シニアセミナー」(県委託事業)を開催します。セミナーのテーマは『次世代育成・子育て支援』。受講対象は県内在住のおおむね60歳以上の方々、会場は四日市、津、松阪の3ヶ所としています。

おおまかな講座の内容は、地域福祉・児童福祉の現状に関する認識、課題の発見と解決に必要な知識を習得する基礎編、仲間づくりの手法などを興味深く身につけてもらう技術習得編、そして実際の活動を体験してもらう実習編となっています。

こうした講座は、様々なところで取り組まれるようになってきていますが、常に課題となるのは、講座修了後、実際の活動にいかにつなげていき、そして継続していくかです。本会でも、その点を重要視し、体制を整えているのですが、そこには、実際に受講した方々の視点も欠かせないものだとも思います。

この講座修了後には受講生の方々から、自分達の活動をどうフォローしてほしいか何か提案があるかもしれません。その提案を受け、本会と受講生の皆さんと一緒によりよい『次世代育成・子育て支援』を考えていくことができるようになればいいなと思っています。

会場によってはまだ定員に若干余裕のあるところがあります。その状況や、日程などをもっと詳しく知りたいと思われた方はコチラまで→三重県会福祉協議会内「シニアセミナー係」TEL:059-227-5145

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は5団体ありました。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- 【1】(1)ミューチャルエイド東海(2)森本 久(3)南伊勢町東宮910番地
【2】(1)全日本総合武道連盟(2)打田直寛(3)鈴鹿市十宮四丁目5番2号
【3】(1)琢磨会(2)上出武弘(3)津市白山町二本木421番地6
【4】(1)環境評価研究機構(2)佐藤邦夫(3)津市栗真町屋町1577番地
【5】(1)津市NPOサポートセンター(2)大窪久美子(3)津市大門7番15号津センターパレス3階津市市民活動センター内
(平成19年7月10日~平成19年8月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 日本アフリカ音楽交流会(平成19年7月20日)/国際文化芸術交流協会打・World at Qualia(平成19年7月31日)/三郷の華(平成19年8月6日)
(平成19年7月10日~平成19年8月9日届出分)

イベントスケジュール



【子育て広場:ドロッピン】

囲碁教室

●とき/9月8日(土)10:30~12:00

- ところ/子育て広場:ドロッピン事務所2階
●参加費/500円(小学生以上)
●内容/2人の先生に囲碁を初歩から教えていただきます。

第1回森であそぼ!

- とき/9月10日(月)9:15~15:00ごろ
●ところ/JR富田駅(1号線側)集合~菟野の奥の朝明茶屋(キャンプ場)の森
●参加費/一般2000円、会員1500円
●内容/みんなでバスに乗って朝明茶屋のキャンプ場にある秘密の森に出かけます。雨天でも親子で自然を満喫します。
●持ち物/タオル、帽子、雨具、着替え(長袖・長ズボン)、水筒、お弁当

おしゃべりサロン

- とき/9月25日(火)10:00~12:00
●ところ/子育て広場:ドロッピン 事務所
●参加費/一般300円、会員100円(コーヒー・ケーキ付)、ランチ400円
●内容/最初は親子で手遊びをしたり絵本を読んでから、お母さんだけ2階でおしゃべり。子どもたちは託児スタッフが預かります。
●持ち物/オムツ、お茶(ミルク)、ビニール袋など

●募集人数/先着10組

●問い合わせ先/四日市市富田1丁目8-11 子育て広場:ドロッピン Tel.&Fax.059-363-3728
E-mail smile_dropin@yahoo.co.jp
ホームページ http://www.geocities.jp/smile_dropin



いっしょに遊ぼう子育てフェスタin松阪

●とき/9月8日(土)10:00~15:00 雨天決行
●ところ/三重中京大学(松阪市久保町1846番地)

- 参加費/入場無料
●内容/三重中京大学短期大学部と松阪子どもNPOセンターが発起人となってこのフェスタを開催します。北島尚志氏講演会、子どもフリーマーケット、絵本の読み聞かせコーナーのほか、展示、ゲームコーナー、食育コーナーなどいろいろな企画があります。
●主催/「いっしょに遊ぼう子育てフェスタin松阪」実行委員会



第5回三重映画フェスティバル

●とき/9月15・16日(土・日)両日とも10:00開場
●ところ/フレテみえ多目的ホール

- (三重県総合文化センター内)
●参加費/前売1000円、当日1200円(チケットは三種類ありますので、詳細はお問い合わせください)
●内容/【15日】10:30「ホワイ・ラブ」上映。13:30~14:30 ゲストトーク「藤田監督と映画」(ゲスト:映画監督の小谷承靖さん、女優の赤座美代子さん)。14:40「天使を誘惑」上映。
【16日】10:30~12:30 学生企画「ミエ/ヨカン」自主制作映画上映会。「ふたつの傘とひとつの心」上映(監督:湯元美谷子)。ゲストトーク(ゲスト:湯元美谷子監督)。三重大学映画サークル「みえ・シネマアーカイブ」。映像ボランティア団体「映像CUBE」による自作映画の上映。13:30「フラガール」上映。
●託児/9月2日申込締切 0歳~未就学児一人1000円
●問い合わせ先/三重映画フェスティバル実行委員会
Tel.059-326-1908
ホームページ <http://mie-cinmafesta.net/>
●共催/三重県生涯学習センター、三重県男女共同参画センター



【四日市まんなか子ども劇場】

託児付 ワンデーレッスン

●とき/9月18日(火)10:30~12:00

- ところ/みんなの居場所きらり ●参加費/1300円(材料費込)
●内容/炊き込みご飯と白和えを作ります。託児は一人500円。二人目からは半額です。

親子で公園遊び

- とき/9月25日(火)10:30~ ●ところ/伊坂ダム
- 参加費/一般300円、会員無料(要事前申込)
- 内容/おひさまの下で遊び、お弁当を食べて絵本を読みます。
- 申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670



みえの文化力フォーラム

住む人と訪れる人がともに育む「美し国 三重」の魅力

●とき/9月29日(土)13:00~15:50

- 参加費/無料 ●ところ/寶日館(伊勢市二見町茶屋566-2)
- 内容/県では、地域のさまざまな資源や特色を生かす「文化力」を政策のベースとして取り組んでいます。「住む人と訪れる人がともに育む「美し国 三重」の魅力」を通して「文化力」の考え方を生かした「美し国 三重」の地域ブランドづくりについて考えます。当日は地域ブランディングプロデューサーの宮本倫明さんによる基調講演とパネルディスカッションを開催します。
- 申込・問い合わせ先/三重県政策部企画室 Tel.059-224-2025 E-mail kikakuk@pref.mie.jp



アストdeサロン

日常の中の異文化~人生を豊かに生きるヒント~

●とき/9月30日(日)13:00~15:00

- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター交流スペース(アスト津3階) ●参加費/300円(お茶、お菓子付き)
- 内容/ゲストの小林美保子さんは6年間バンコクに住んだ経験を活かし、司法通訳を務めたのち、平成15年から2年間、在タイ日本大使館で領事シニアボランティアとして勤務しました。
- 申込方法/下記まで来訪、電話、Fax、E-mailで事前申込み。
- 問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>



第3回 関宿スケッチコンクール

●とき/10月7日(日)9:00~16:30 雨天決行

●ところ/本部受付:「いっぷく亭」(亀山市関町新所)

- 参加費/一般の部200円、子どもの部(5歳~中学生)無料
- 内容/往事のおもかげを色濃く残し重要伝統的建造物群保存地区(国文化財)に選定され、今も大切に守られている東海道五十三次の宿場地の一つ、関宿の町並みのスケッチコンクール。対象は10月7日に書かれた作品です。作品はスケッチ(素描)とし、彩色は水彩、パステル、コンテ、色鉛筆など。版画は可、油彩は不可。
- 持ち物/描画材(紙はハガキサイズ~F10号・四つ切)
- 申込方法/当日本部にて受付。
- 問い合わせ先/関宿スケッチコンクール実行委員会事務局 Tel.0595-82-4125(森)。0595-84-5078(亀山市まちなみ・文化財室) ホームページ <http://sekijyuku-sketch.com>

第2回アタック!高見山

- とき/10月14日(日)8:00受付 9:00スタート
- ところ/道の駅飯高駅~サイクリング38km~高見山登山~サイクリング38km~道の駅飯高駅
- 参加費/一般4000円、高校生2000円
- 内容/景色の美しさ、川、森林、空気。どれを見ても心が癒される飯高町の活性化をはかる町づくりの一つとして開催します。参加資格は高校生以上。(高校生は親権者の承諾が必要)
- 持ち物/ヘルメット、山登りに適したシューズ。
- 募集人数/100人 ●応募締切/9月30日(日)

- 申込方法/参加申込書は郵送。参加料は郵便小為替または現金書留で郵送するか、下記まで持参。
- 問い合わせ先/514-0004 津市栄町3-277 YADA CYCLE内 アタック!高見山事務局 Tel.&Fax.059-226-2525 E-mail yada_cycle@ybb.ne.jp ホームページ http://www.geocities.jp/yada_cycle/



ネットワークのよびかけ



アンタが主役

- サロン、講座、講演会、交流会など、あなたの団体の事業開催をサポート。事業を行うのは「大変」「難しい」「人手が無い」などと思っている市民活動・ボランティア団体の方、津市NPOサポートセンターが事務作業、広報、準備などをお手伝いいたします。団体のメンバーが講師となって活動し、講座を開催して活動資金を獲得できるようサポートします。
- 事業内容/単発の講座・サロン・講演会・交流会など。
 - ところ/津市市民活動センター2階会議室・オープンステージ
 - 募集締切/12月28日
 - 開催期間/平成19年9月~平成20年3月
 - 申込・問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3階 津市市民活動センター事務局(担当:川辺、浜口、濱名) Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>
 - 主催/津市NPOサポートセンター



ゴミゼロキャラクター愛称大募集

三重県では『ごみゼロ社会』の実現を目指し、『ごみゼロキャラクター』の愛称を募集します。



【キャラクタープロフィール】

- 僕は、三重の豊かな森から生まれた森の妖精。人間で言うと小学4年生くらいかな。僕が大人になった時も自然豊かな三重県であって欲しいから、資源を大切に暮らしているよ。今は、ちょっと太めな体だけど、大人になった頃には、ダイエットしてスリムになるぞ~。
- 応募締切/9月14日(金)当日消印有効
 - 応募資格/三重県在住か、通勤・通学者。応募者自身が考案したもので未発表のもの。応募点数は一人1点限り。
 - 申込方法/郵送、E-mail、ホームページの「キャラクター愛称応募フォーム」。詳細をお問い合わせを。
 - 問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地 三重県環境森林部ごみゼロ推進室 ごみゼロキャラクター愛称募集係 Tel.059-224-3126 E-mail gomizero@pref.mie.jp ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomizero/>

自分も相手も大事にするコミュニケーション

~女性のためのアサーション入門~

- もっと自分らしく生きたい、健康的な人間関係を築きたい、「わたし」の言葉に出会いたい、「わたし」を生きていくための「言葉」、「わたし」を表現する「言葉」、「わたし」の気持ちを伝える「言葉」を捜してみよう!講師はBCBファシリテータの渥美美穂子さんです。
- とき/9月22日、9月29日、10月13日、10月27日(すべて土)13:30~15:30
 - ところ/伊賀市交流研修センター(伊賀市三田986の1、JR伊賀上野駅前 Tel.0595-24-6078)
 - 参加費/3000円(4日間、資料代含む)
 - 募集人数/20人 ●応募締切/9月18日(火)

●問い合わせ先/事務局 DVヘルプライン・MIE
Tel.090-9223-3351 Fax.0595-21-8991
E-mail dvhelplinemie@yahoo.co.jp
三重県伊賀県民センター生活課 Tel.0595-24-8137
Fax.0595-24-8010 E-mail gkenmin@pref.mie.jp
●主催/DVを考える会・伊賀



「家族みんなで住みたい未来の家」の絵募集

お子様の達成感、家族を思いやる気持ち、豊かな暮らしへの夢を育むために開催します。元気いっぱい絵やイラストのご応募をお待ちしております。応募はお一人1作品。なお作品は9月15日(土)～21日(金)の間、すまいるプラザ松阪(松阪市川井町468-1)で展示し、参加賞とともに返却します。

- 応募締切/9月7日(金)必着
- 応募資格/5歳～小学校3年生まで
- 応募サイズ/絵手紙サイズ～8つ切サイズ(380mm×270mm)の中であれば、自由。A4のコピー用紙の使用も可。画材は自由。
- 申込方法/作品の裏面に「郵便番号・住所・学校名(または園名)・名前・年齢」を明記し、郵送で応募。
- 申込先/515-0811松阪市塚本町554-105号 特定非営利活動法人Mブリッジ(事務局:米山)
- 問い合わせ先/Tel.090-2618-3713(事務局:北西)

【三重シュールからのお知らせ】

講師募集

不登校の子どもたちが通うフリースクールの非常勤講師を募集します。科目は数学(週1日、約2時間)、理科(隔週1日、約2時間)。日時は応相談。子どもと一緒に楽しく学べる方、高校の教員免許をお持ちの方、ご応募お待ちしております。

- とき/平成20年4月～平成21年3月(平成21年3月以降の継続及び平成19年10月から始めることも可能)
- 講師料/1時間2000円、交通費実費支給。
- ところ/フリースクール三重シュール(津市広明町328番地津ビル)

「親さろん」を名張で始めます!

不登校の親たちが自由に集まり、おしゃべりする「親さろん」を名張で始めます。参加された皆さんから「安心した」「つらい気持ちをわかってくれた」「少し元気になった」という声が寄せられています。

- とき/9月12日(水)13:30～16:30(参加時間は自由)
- ところ/アスピア(名張産業振興センター)3階会議室B(名張市南町822-2、近鉄名張駅徒歩7分) ●参加費/無料、申込不要 ※「親さろん」は以下の地域でも開催されています。津駅前アスト津3階交流スペース/四日市市文化会館2階和室/教育会館本町分館(松阪)。開催時間等、くわしくはお問い合わせください。

- 問い合わせ先/NPO法人三重にフリースクールを作る会
Tel.059-213-1115(三重シュール)、059-213-1116(三重にフリースクールを作る会) E-mail npo@mienoko.com

虐待防止専用電話受け手募集

日本子ども虐待防止学会第13回学術集會みえ大会～聴こう親のものがたり 子どもの気持ち～に合わせて、虐待防止専用電話を12月14日(金)～15日(土)10:00～19:00の2日間開設します。指示しない、指導しない、かけ手の心に寄り添い、かけ手の主体性を大切に傾聴する電話です。講習会に参加し、ボランティアとして受け手をしてみませんか?受け手希望者は全単位履修が条件です。履修終了後面接をさせていただきます。講習会の詳細な時間などはお問い合わせください。

【講習会内容】

- とき・内容/9月30日(日)「虐待ラインのコンセプト」/10月7

日(日)「いじめ・不登校 子どもの心を聴く」/10月14日(日)「子ども虐待」/10月28日(日)「エンパワメント講演」、「エンパワメント ワークショップ」/11月3日(土)「虐待～子どもの権利 子どもの人権～」/11月17日(土)「傾聴・ロールプレイ」

●ところ/アスト津3階、4階。三重県津庁舎(講座によって会場が違います。詳しくはお問い合わせを)

●参加費・募集人数/受け手(定員35人)8000円、支え手(定員15人)5000円(チャイルドライン24の支え手経験者対象)

●主催・申込・問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1 三重県子どもNPOサポートセンター
Tel.059-232-0270 Fax.059-232-0271
E-mail mie-kodomo-npo@za.ztv.ne.jp

夢のバリアフリーミュージカル公演場所大募集!

障がい者と健常者が舞台の上で共に輝く人情集団「An-Pon-Tan」が三重県縦断ルー公演に挑戦。公演場所を県内各地で募集します。興味のある方はぜひご連絡を。メンバーも随時募集中。

- 応募締切/10月31日
- 申込方法/(1)応募団体の概要(団体名、代表者名、住所、電話、その他団体の説明)(2)応募理由(3)公演場所案(4)セールスポイントを明記し、下記まで郵便、Faxなどで応募。
- 問い合わせ先/510-0205 鈴鹿市稲生2丁目4-15「An-Pon-Tan」事務局(代表:小川直大)
Tel.090-7916-8552 Fax.059-387-2509
ホームページ <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~anpontan/>

もり NPO法人森林の風

森林活動「まちの木こり人育成講座」

森林保全活動の基本を中心とした実践活動実習です。今回の募集は第二クール「森林づくり」(全3回)。森林づくりの進め方を中心に森を測ることから間伐の基礎までを勉強します。

- とき/9月9日、10月14日、11月11日(すべて日) 各回8:50集合、15:30解散予定
- ところ/亀山市関町加太向井 鈴鹿森林組合同井作業所前
- 参加費/1000円(保険料及び資料代) ●募集人数/20人
- 持ち物/弁当、水筒、雨具、ハイキングの服装、筆記具、軍手、着替え。持っている人はヘルメット・のこぎりも持参。
- 問い合わせ先/四日市市三滝台4丁目15-7 森林施業NPO 森林(もり)の風 Tel.059-321-7719、090-9663-4088
ホームページ <http://www.morinokaze.info/>

多言語相談“HELP DESK”

多言語による外国人住民の無料生活相談を行っています。プライバシーに関しては秘密を厳守します。

- 【電話相談 月～金 9:00～17:00】
Tel.059-223-5006
- ・タガログ語、タイ語、インドネシア語は日本語で受付をし、後から各言語のわかる人が電話をして対応します。
- ・ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語で相談ができます。(ただし、中国語は金曜9:00～11:30)
- 【電話相談 毎週水曜 17:00～20:00】
タガログ語 Tel.090-6587-9151
タイ語 Tel.090-6587-9155
インドネシア語 Tel.090-6587-9158
直接相談ができます。(12月29日～1月3日を除く)
- 【来訪による相談 月～金 9:00～17:00】
“HELP DESK”にてポルトガル語、スペイン語、中国語、英語の相談に対応します。事前にご連絡ください。
- 問い合わせ先/津市羽所町700 アスト津3階 みえ県民交

三重県防災ボランティアコーディネーター 養成講座受講生募集

防災ボランティアコーディネーターとは、日頃から防災啓発や災害時のコーディネートに力を合わせて取り組める仲間たちのことです。平常時の防災啓発、災害時のボランティア(コーディネート)活動に関心があり、防災ボランティアコーディネーターとして活動する意欲のある方、三重県内各地で開催される養成講座に出席する意欲のある方は、オリエンテーションに参加し、作文(800字程度)を提出してください。(どうしても日程調整がつかず参加できない方はその旨をご連絡ください) 募集人員は30人程度です。養成講座の日程、内容など詳細はお問い合わせください。

- オリエンテーション参加申込締切/9月13日(水)
- オリエンテーション日程/時間はすべて19:00~20:30
『北勢』9月14日(金)、『中勢』9月21日(金)、『南勢』9月18日(火)、『伊賀』9月19日(水)、『東紀州』9月19日(水)
- 申込方法/ホームページ、E-mail、郵送、Fax。
- 申込・問い合わせ先/516-0005 伊勢市竹ヶ鼻町170-1 サンヨーバルブ(株)内 Tel.&Fax.050-7000-6029
E-mail webmaster@v-bosaimie.jp
ホームページ <http://www.v-bosaimie.jp>

カルチャースクール「ブンカの交流館」 9月から受講生を募集開始!

空き店舗を有効活用し、「学び」、「知」の交流を楽しむために実施する「ブンカの交流館」。100円で受講できる講座もあり、老若男女が交流を楽しめる内容が盛りだくさんです。講座内容の詳細はホームページで確認してください。郵送も可能です。

- ところ/松阪市駅前ベルタウン2階 (駅から徒歩1分)
- 申込方法/講座内容郵送希望者はFaxまたはハガキで「ブンカの交流館・案内希望」と明記のうえ、希望者の「郵便番号・住所・氏名・TEL・FAX」を送付。申込はホームページ、電話などで受付。
- 問い合わせ先/515-0084 松阪市日野町788カヨンプラザ3階 松阪市市民活動センター内 特定非営利活動法人Mブリッジ Tel.0598-26-0108 Fax.0598-25-3803
ホームページ <http://m-bridge.jp/business>

助成金 ニュース

農村コミュニティ再生・活性化支援事業

- 受付締切/9月21日(金)消印有効
- 助成の対象となる団体/農協、森林組合、水産業協同組合、農業生産法人、特定農業団体、NPO法人、公益法人、土地改良区、商工会議所、商工会連合及び商工会、地方公共団体が出資する団体、農山漁村の住民等の組織する任意団体。
- 助成の対象となる活動/都市から農村への定住などの促進、地域産業との連携の推進。
- 対象事業の期間/平成19年12月上旬頃~平成20年3月中旬
- 応募方法/応募要項などは農林水産省ホームページ(<http://www.maff.go.jp/nouson/community/index.htm>)から入手。
- 問い合わせ先/東海農政局農村計画部農村振興課(担当:課長補佐) 愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2 Tel.052-201-7271

第6回花王・みんなの森づくり

- 受付締切/10月31日(水)消印有効 ※両助成とも
- 助成の対象となる活動/都市部または都市近郊での森づくり。住民による地域社会に寄与するものを対象。
- 【プロジェクト助成】

- 助成の対象となる団体/国内で森づくりの活動に取り組んでいる団体。(町内会、自治会、学校など含む)
- 対象事業の期間/平成20年3月~平成21年3月
- 助成の額/上限100万円。30件程度。

【スタートアップ助成】

- 助成の対象となる団体/国内で新たに森づくりの活動に取り組もうとする団体及び設立後1年未満(申請の時点で)の森づくりの活動に取り組んでいる団体、森づくりの活動に取り組む団体の立ち上げを準備しているグループうち、平成20年2月の助成決定までに団体の立ち上げが可能なグループ。
- ※いずれの団体も、森づくりの活動を3年以上継続すること。
- 対象事業の期間/平成20年3月~平成23年3月(3年間継続)
- 助成の額/初年度は上限30万円(3年間で総額100万円)。5件程度。
- 応募方法/応募要項などはホームページからプリントアウト。または下記へ請求。
- 問い合わせ先/(財)都市緑化基金「花王・みんなの森づくり活動助成」係 102-0082 東京都千代田区一番町10番地 一番町ウエストビル5階 Tel.03-5275-2291 Fax.03-5275-2331
E-mail midori-info@urban-green.or.jp
ホームページ <http://www.urban-green.or.jp/>

独立行政法人福祉医療機構

長寿・子育て・障害者基金(特別分・地方分・一般分)

- 受付期間/9月1日~10月31日 当日消印有効
- 助成の対象となる団体/NPO法人、社会福祉法人、ボランティア団体などで、団体であれば法人格の有無は問いません。
- 助成の対象となる活動/【長寿社会福祉基金】
 - 1「在宅福祉事業等に従事するマンパワーの養成・研修に関すること」
 - 2「高齢者・障害者の日常生活環境の向上に対する支援に関すること」
 - 3「認知症高齢者及び在宅で介護にあたっている家族への支援に関すること」
 - 4「その他高齢者・障害者の在宅福祉事業等の支援に関すること」【高齢者・障害者福祉基金】

- 1「地域の福祉・介護のネットワークの形成に関すること」
- 2「緊急に充実を図る必要のある高齢者、障害者在宅福祉の推進に関すること」
- 3「高齢者、障害者の社会参加の促進に関すること」
- 4「民間非営利団体等による地域の福祉・介護活動に関すること」

【子育て支援基金】

- 1「地域や家庭における子育て支援事業に関すること」
- 2「青少年の非行防止・健全育成事業に関すること」
- 3「児童虐待防止対策など要保護児童対策等事業に関すること」
- 4「ひとり親家庭等自立支援事業に関すること」

【障害者スポーツ支援基金】

- 1「障害者スポーツの育成・強化事業に関すること」
- 2「障害者の競技スポーツに係る競技用具の研究開発・改良等に関すること」
- 3「障害者スポーツに対する意識高揚に関すること」
- 4「地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進に関すること」

※地方分モデル事業の対象は【高齢者・障害者福祉基金】のテーマ3のうち若年性認知症の人と家族への相談、支援、啓発事業。【子育て支援基金】のテーマ1のうち、携帯電話メールによる子育て情報(防犯・防災、イベント、感染症・医療、食品・食中毒等)配信事業。「ふるさと」ふれあい(郷土に伝わる料理、工芸、文化及び芸濃などを介した世代間交流)子育て支援。

- 対象事業の期間/平成20年4月1日~平成21年3月31日
- 助成の額/(特別分)上限500万円 (地方分)(地方分モデル事業)上限200万円 (一般分)内容を勘案して決定
- 応募方法/募集要領は独立行政法人福祉医療機構ホームページからダウンロード。同一事業のため2つ以上の基金に同時応募はできません。
- 申込・問い合わせ先/(一般分)独立行政法人 福祉医療機構 基金事業部計画課 105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 秀和神谷町ビル9階(10月1日から建物名称が神谷町セントラルプレイスに変更) Tel.03-3438-9945 Fax.03-3438-0218
ホームページ <http://www.wam.go.jp/wam/>
(特別分)独立行政法人 福祉医療機構 基金事業部振興課
Tel.03-3438-9946 住所・Fax・ホームページ同上
(地方分・地方分モデル事業)三重県社会福祉協議会
Tel.059-227-5145

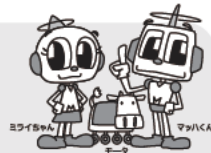
助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

つながれ!……NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

今月特集 企業と市民活動の支え合う仕組み

松阪「アピール・サポート推進計画(アピ×サポ計画)」



松阪市市民活動センターで好評の「アピール・サポート推進計画(通称:アピ×サポ計画)」は、企業や商店街のお悩みに対して、市民活動団体を紹介し、連携する場をコーディネートする仕組みです。その企画提案や橋渡しをセンターが行います。

この連携は、企業が地域とタイアップしている姿を「アピール」できるだけでなく、団体が活動や存在を「アピール」することにも繋がり、やりがいを得ることができます。また、それぞれが求めている内容を「サポート」し合える関係づくりでもあります。

例えば……

【相談】 企業主催のイベントに社員家族以外の人でも来てほしい

→【提案】 市民活動団体の出店を促しましょうか?

【相談】 子ども向け商品開発のモニターが集まらない

→【提案】 子育てサークルの生の声をお聞きになりますか?

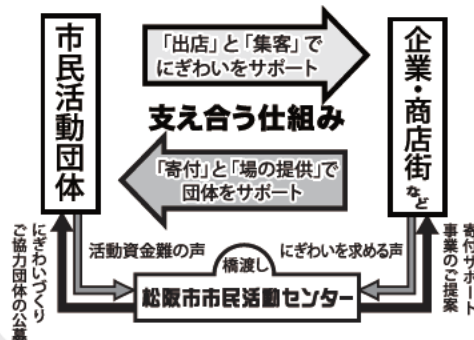
これからの豊かな地域づくりは、企業と団体で共に創り上げることが求められます。

支え合う仕組みである「アピ×サポ計画」は、企業のイメージアップやファンづくりにも役立ち、市民活動を育む新たな取り組みです。

企業のイベントや福利厚生事業など、市民活動団体が力になれることはあり、地域に根ざしたサポートをすることも可能です。

まずはお気軽にお問い合わせください。市外の企業も大歓迎です。260の団体がサポートをいたします。

「アピ×サポ計画活用の一例」



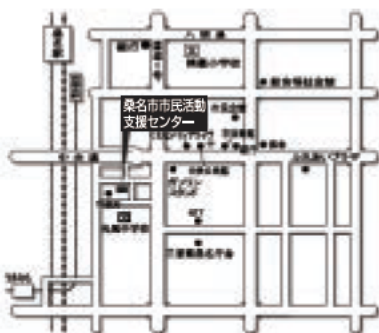
〒515-0084 松阪市日野町788 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp
TEL 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803
http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/index.html

問い合わせ：松阪市市民活動センター

地域情報 桑名市市民活動支援センターオープン!

8月23日、桑名市役所分庁舎(本庁東隣)1階に「桑名市市民活動支援センター」がオープンしました。

いろいろな分野で社会に貢献する市民活動団体やこれから活動をしようと考えている市民の方に利用していただける場所です。



市民活動団体の活動内容やイベント情報の発信・交流のほか印刷機やコピー機などの利用ができます。また、市民活動のための講座や交流会なども開催していく予定ですので、ご気軽にお立ち寄りください。

☆利用時間…午前9時～午後9時

※午後5時以降に利用する場合は、事前(一週間前)に予約が必要です。

☆利用料金…無料 ※印刷機など一部有料

☆休館日……月曜日、祝日、年末年始

※臨時に休館日を設ける場合があります

問い合わせ：桑名市市民活動支援センター

〒511-8601 桑名市中央町2丁目37番地
桑名市役所分庁舎 1階

TEL0594-24-1184

E-mail kuwana-sksc@tuba.ocn.ne.jp

隔月コラム NPO室認証担当のNPO法人知っ得情報

《NPO法人設立時の役員》

「定款を変更したいのですが、どんな書類を出せばいいですか?」

「変更する内容によって違います。どこが変わるんですか?」

「役員が変わったので…」

「??。定款には、ふつう、現在の役員さんの名前は書かれていないはず…」

「定款の最後の方に書いてありますよ。」

「あっ、定款の附則ですね。附則に書いてある設立当初の役員名は、役員が変わっても変更する必要がありません。というのは、……」

こんな相談がよくあります。



担当の古川明郎です

定款には役員の数や選任手続きなど「枠組み」を規定しますが、「中身」である役員名は書きません。総会などの手続きを経て役員を決定すればそれでよくて、定款にまで書き込む必要はありません。(県NPO室への役員変更届は必要です。)

ただし、設立時は別で、役員全員の氏名を定款に記載しなければなりません(法第11条)。そこで、定款の附則に記載することになるのですが、附則は、定款の履歴として残し、今後も変更の都度追加していく性質のものです。つまり、設立時の役員さんの名前はいつまでも法人の定款に残っていくことになるのです。

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。リサイクル、リユースの情報交換の場「ぐるぐる」の代表である加藤小映子さんからバトンが渡ったのは多賀輝宏さん。視覚にハンディを持ちながらも、自ら盲導犬など補助犬の理解を広める活動を行っています。

補助犬に対する理解を深めたい

……多賀さんの活動を教えてください。
 NPO法人三重補助犬普及協会（以下、普及協会と略）の理事長がほとんどメインです。後は三重県ユニバーサルデザイングループのアドバイザーとして、講演などに月2回くらいかけています。
 ……多賀さんは生まれた時から視覚にハンディがあったのですか？
 今思うと子どもの時から夜盲と視野狭窄はありましたね。時代が時代ですから医学的な知識が今よりも少なかったから気付かずにいただけで。つまづくことが多い、不注意な子どもだと親も本人も思っていました。病気を知ったのは、子どもが生まれた時です。子どもが少し目の様子がおかしかったので病院で検査をしたのですが、その時に僕もついでに診てもらって病気がわかりました。「将来的に失明するおそれがある。できるだけ強い光を避けて生活しなさい」と言われましたが、それまでに散々、雪山や海水浴に行ってますからね（苦笑）。その頃、視力は0.7くらいあり、それほど不便は感じませんでした。ただ、視野が狭くてね。普通なら120度あるところが、僕は20～30度しかありません。カタリン注射を5年、脳下垂体の移植、レントゲン照射を半年。できる限りの治療はしましたが、結局効果はなかったですね。42歳の時、見えなくなりました。
 ……盲導犬利用者になったのはいつですか？
 4年前。2003年の2月に、盲導犬のクロスが僕のところに来ました。三重県に初めて盲導犬が来たのが25年前になります。
 ……普及協会はいつできたのですか？
 同じ年の秋に盲導犬使用者と一緒に熊野古道を歩くイベントを企画しました。その時に、参加された盲導犬使用者に、普及協会設立を呼びかけました。
 ……なぜ、普及協会を作ろうと思ったのですか？
 三重県の盲導犬は頭数も少なく、社会の理解や対応にしても最低のレベルでした。この年の5月に補助犬法が成立し、10月に施行されましたので、行政と協働しながら、盲導犬が市民権を得られるよう県内に広めていくのが大切だと思い、設立しました。特に僕が住む津市は三重県の県庁所在地として、人が集まってくる状況にも関わらず、当時、盲導犬を受け入れてくれるホテルや飲食店はほとんどありませんでした。
 ……ハンディを持つ方が団体を設立するのは少ないのでは？

作業所などの立ち上げは当事者やその親でしょうか？それを同じです。まったく無関係の人は、ハンディのある人の問題になかなか気付かないし、運営も難しいと思います。

……盲導犬に関する問題とは？
 社会の理解だけではなく、視覚障害者の中でも、「盲導犬は世話ばかりかかって、大変だ」と言う噂が広がっていました。僕は盲導犬は車と同じだと思っています。手入れも必要だし、経費もかかる。盲導犬もそう。一緒に外出しなければ、世話が必要なだけで、単なるペットになってしまう。事実、そういう状態が多い。でも、どんどん外出していれば、盲導犬も場所などをすぐに覚えてくれますし、活動範囲も広がります。何度も通っている場所なら、クロスは命令しなくても、スーッと入り口に入っていきますよ。

……補助犬普及協会という名前ですが、盲導犬以外にも種類があるのですか？

聴覚を助ける聴導犬、肢体不自由の方を助ける介助犬などがあります。ハーネスの会など、盲導犬をサポートする団体はありますが、補助犬全てをサポートする団体は全国でも、三重県だけでしょう。我々は補助犬全てを普及したいという思いで、三重補助犬普及協会と名付けました。けれど、残念ながら肢体不自由の方や聴覚障害の方から問い合わせがあったのは1～2件ですね。盲導犬の場合、今年で誕生50周年を迎えるなど歴史がありますし、各県でも使用者に補助が出ています。でも介助犬や聴導犬は、盲導犬の2倍くらい訓練費用がかかり、特に介助犬は、利用者の身体機能に合わせてのオーダーメイドになりますから、訓練士がひと月ほど、泊まり込む必要があります。その宿泊費なども自己負担ですし、利用の経費も高価ですが、行政からの補助はありません。

……NPOをつくることに躊躇は？

1988年にこもれびセンターを設立するなど、普及協会を設立する前にもボランティア活動をしていましたから、組織を作って、事務作業をすることに抵抗はありませんでした。こもれびセンターでは自身のコンサート活動の他、全国の視覚に障害を持つ音楽家に呼びかけて、登録と派遣などを行っていました。私たち自身のコンサートはシロウトもいいところで、文化的な活動としての意味はほとんどありませんでしたので、本当に文化的な活動が行える方たちを紹介したいと思い、始めました。まず、音楽家各人に手紙を書き、登録を募集し、次に全国の自治体にコンサート派遣の案内状を送りました。15年で100回近く派遣させてもらったかな。それ以外に自分たちのこもれびコンサートも400回近くやってきました。

……登録希望者は何人くらいですか？
 20人くらい。出した手紙の漢字や点字が間違っていて、「いい加減な所だ。信用できない」と断られたこともありましたが。こちらは視覚障害者になってから日が浅かったからね（笑）。

……宛名書きなどはボランティアを募ったのですか？
 宛名書きと封筒づめは自分たちで行います。全国約2500の自治体に20ページほどの案内状を送付します。宛名書きはパソコン。その頃はDOSマシンで、住所録ソフトのアドボイスというのを使っていました。予め全国市町村名が漢字で登録されているソフトでしたので、各役場の住所を対面朗読して入力すれば、ほとんど間違えることなく登録できました。



三重補助犬普及協会理事長
多賀輝宏 さんに 聞く

……視覚に障害のある方が事務作業をこなすのは大変では？
むしろパソコンが扱えるようになる、習熟のためにもいい機会でした。僕たちはマウスが使えないでしょう。操作は全てキーボードで行うので、DOSマシンは使いやすかったですね。ウィンドウズは機能が多すぎて使いにくい。タブやコントロールキーを何回押すかで機能が変わりますが、この順番を間違えると作業がパーになるし、覚えるのもなかなか大変です。だから最近ではちょっと諦めてて(笑)、メールと文章作成がなんとかできればいいかなと思っています。

ハンディがあるからできるボランティア

……三重県ユニバーサルデザイングループではどのような活動をしているのですか？

アドバイザーです。他のユニバーサルデザインのグループは高齢者、障害者、妊婦の不便を体験する体験会が活動の中心。それはそれで面白いし、意義がありますが、そこを入口にしてもっと進めたいかなと、本当にユニバーサルデザインを理解することにはなりません。このグループはそこまで進めています。

自分が出ていかなかったら、多分変わってなかったらと思うな。

……一般的なイメージでは障害を持っている人はボランティアされる側ですが？

もちろん、ボランティアしてもらうことは多いですけど、障害があるからこそできることもありますから。例えばアドバイスとかなら、ボランティアすることも可能です。

……視覚障害者が外出を嫌うのは、環境が整っていないから？
「危いから、外へ出ないで」と、家族が止めることが多いですね。三重県視覚障害者協会には500人ぐらいが加盟していますが、障害を持った人自体は残り5000人ぐらいはいると思います。その人たちは家の中だけで生活しているわけです。でも、当事者が出歩かないと、社会全体に理解してもらえません。僕の自宅近くの雲出の交差点、以前は横断歩道に車が止まっていることが多く、週2回ぐらいはぶつかってました。信号が変わる間に右折したはいいいけれど、前が進んでいなくて横断歩道上に止まってしまうようです。でも、僕が盲導犬を連れて出歩くようになってからは、年1回ぶつかるぐらいに減りました。僕はほぼ毎日、外出しますし、バスも市内の路線はほとんど乗りました。最近ではバスに乗ると運転手さんが「今日はどこで降りる？」と声を掛けてくれます。乗る時も見知らぬ人が「バス来ましたよ」と教えてくれるし、そういうことがすごく増えてきました。10年前には思っても見なかったことですから、社会全体が変わってきたと言えますね。

……ハード面の整備はどうでしょう？

かなり整備されてきましたけど、行政も視覚障害者協会の役員や警察も、どうしても公共の福祉に重点を置きますから、人通りの多い所

に点字ブロックやエスコートゾーン(横断歩道の点字ブロック)を敷設しますね。それは確かに一理あるし、必要なことだけど、それだけでは困ります。人通りの多い所なら、困ったことがあってもすぐに人にお願ひできるでしょう。津市の中心部、三重会館の辺りなら人が多いから極端なことを言えば、音響信号が無くても道路を横断することができます。でも、人が少ない所は無理ですから、ハード面を整備する必要が出てきます。

……10年で変わったと言われましたが、自分がそこに役立っているとは思いますが？

それはもう(笑)。自分が出ていかなかったら、多分変わってなかったらと思うな。車や壁にぶつかって痛い思いもしたけれど、それは時間が経てば治るからね。

……「目が見えたら…」と思うことはありますか？

視覚は一番、楽しみに繋がっている感覚だと思っています。イタリア旅行で、ミケランジェロが彫った壁画を触らせてもらいましたけど、何が彫られているのかは、さっぱりわかりませんでした。「ミケランジェロが彫ったんだ!」という感慨はありましたけどね。人の顔もわからないし、景色もわからないから、旅の楽しみは減ります。

……サポートの方法はないのでしょうか？

今までに一人だけ、景色を視覚的に説明してくれた方がいます。シアトルに行った時、「見えないから、行かない」と外出を嫌がった僕に友人が「教えてあげるから、行こう」と連れていってくれました。彼女は三方の景色を説明してくれました。「海に山の方から陽が入ってるよ。観光船が移動していく。東の方は暗くなってきて…」って。その説明で、景色が目に見えなくなりました。実際の景色とは違ってもいいけど、その風景が視覚的に残っています。

……練習する方法もあると思いますか？

7月26日に視覚障害者のショッピング体験の研修会を開催しました。津市の松菱百貨店に協力していただいて、視覚障害者は自分の欲しい物を探し、店員さんには視覚的に商品を説明してもらい、そしてそれをサポートするボランティアさんにはガイドの仕方を覚えてもらうという、三者が三者なりの研修をしてもらう体験会です。集合場所の津駅からバスで松菱まで移動しました。実は自分でバスに乗ったことがある視覚障害者はほとんどいないんですよ。真ん中にあるドアから乗るとするのはガイドさんが連れていってくれるから知っているけど、整理券はどこで取るのか、降りる時にどのボタンを押せばいいか。両替、料金をどこに入れればいいのか。ほとんどの人が知りません。ボランティアさんについてはもらうけれど、頼りにするのはなく少しでも自分でできようになりたい。座る場所も自分から周りのお客さんや運転手さんに「どこが空いてますか？」と聞けるようにならないと。すぐ杖を使うのが上手で、バスや電車にも自分で乗れる人が、歩行訓練士さんに「あなたは中級どまり。ここに来るまで一度も人に声を掛けませんでしたね。それでは知っている所しか歩けません」と言われたそうです。僕らは人に聞かないと知らない所は歩けません。それは厚かましいことだけど、必要なこと。それができるかどうかで、心の自由が保障されるのです。

多賀輝宏さんはこの人を **紹介** します。

井上苑枝さん

音訳ボランティアからスタートして30年。活動内容は徐々に広がっていきましたが、「自分が動けるかぎり福祉ボランティアでありたい」という志は変わりません。



7月26日に行われたショッピング体験。盲導犬利用者も多数集まりました。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

100

PRINTED WITH
SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。